

# 米先物取引の試験上場に関する

## シーズンレポート(Vol.23)

(平成29年3月～平成29年5月)

限月	東京 コメ			ODE JPY			出来高
	JUN7	JUL7	AUG7	SEP7	OCT7	NOV7	
ハ枚数							
前日終値	12870	12910	12960	12910	13100	13150	
前場1節	12870	12910	12960	12910	13100	13150	457
前場2節	12870	12910	12960	12910	13100	13150	24
前場3節	12870	12910	12960	12910	13100	13150	24
後場1節	12870	12910	12960	12910	13100	13150	24
後場2節	12870	12910	13000	13000	13150	13150	25
後場3節	12870	12910	13000	13000	13150	13140	6
前日比	0	0	+40	+90	+50	-10	
出来高	6	51	6	40	285	172	

限月	大阪 コメ			ODE JPY			出来高
	JUN7	JUL7	AUG7	SEP7	OCT7	NOV7	
ハ枚数							
前日終値	13510	13310	13310	13300	13480	13520	
前場1節	13510	13310	13310	13300	13480	13520	158
前場2節	13510	13310	13310	13300	13480	13520	14
前場3節	13510	13310	13310	13300	13480	13520	14
後場1節	13510	13310	13310	13300	13480	13520	114
後場2節	13510	13310	13400	13400	13500	13550	35
後場3節	13510	13310	13400	13400	13500	13550	6
前日比	0	0	+90	+100	+20	+30	
出来高	6	26	9	23	13	20	

限月	新潟コシ			ODE JPY			出来高
	JUN7	AUG7	OCT7	DEC7	FEB8	APR8	
ハ枚数							
前日終値	14000	14000	14400	14390	14280	14330	
前場1節	14000	14000	14380	14390	14280	14330	
前場2節	14000	14000	14380	14390	14280	14330	
前場3節	14000	14000	14370	14390	14280	14330	
後場1節	14000	14000	14370	14390	14280	14330	
後場2節	14030	14050	14410	14410	14320	14330	
後場3節	14020	14050	14400	14410	14320	14330	
前日比	+20	+50	0	+20	-10	+30	
出来高	8	13	38	13	13	13	



平成29年6月  
農林水産省

## 【本資料の目的】

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としております。

今期のレポートは、平成29年3月から平成29年5月までを主な対象としております。

- 1 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあります。
- 2 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 3 なお、平成25年2月8日に東京穀物商品取引所は取引を停止し、国内の商品取引所が再編されております。また、取引所の再編に併せ、平成25年2月12日に関西商品取引所は大阪堂島商品取引所に、東京工業品取引所は東京商品取引所に改称されております。本レポートにおいては、従来東京穀物商品取引所（平成25年2月12日以降は大阪堂島商品取引所）で取引されている米穀（東京において受渡しが行われる米穀）を東京コメ、関西商品取引所（平成25年2月12日以降は大阪堂島商品取引所）で取引されている米穀（大阪において受渡しが行われる米穀）を大阪コメと表記しております。
- 4 このほか、本レポートの利用上の注意、用語解説については、巻末に記載しております。

# 目 次

1	今期の米先物取引の試験上場の動向	
(1)	取引価格の動向	2
(2)	出来高の動向	17
(3)	取組高の動向	21
(4)	現物受渡しの状況	26
(5)	取引参加者の構成	33
2	米先物取引の試験上場の推移(H23.8.8～H27.8.7)	
(1)	取引価格の推移	36
(2)	1日の平均出来高の推移	39
(3)	取組高の推移	40
(4)	取引参加者の構成	41
(5)	現物受渡しの状況	42
3	関連情報	
(1)	米の取引価格及び数量	46
(2)	小売物価統計による推移	53
(3)	主食用米等の需給見通し	54
(4)	民間在庫の推移	57
(5)	国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量	58
(6)	平成28年産水陸稲の収穫量	60
(7)	農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	61
4	参考資料	

## 本レポートのトピックス

### 取引価格の推移

本レポート期間（平成29年3月～平成29年5月）における米の先物価格（期先限月）は、東京コメは280円上昇して13,150円/60kg（平成29年11月限）、大阪コメは250円上昇して13,550円/60kg（平成29年11月限）、新潟コシは150円下落して14,420円/60kg（平成30年4月限）となった。（P2・3取引価格の推移参照）

（東京コメ）

29年3月1日：12,910円（期近）～12,870円（期先）

→29年5月31日：12,870円（期近）～13,150円（期先）

（大阪コメ）

29年3月1日：13,240円（期近）～13,300円（期先）

→29年5月31日：13,510円（期近）～13,550円（期先）

（新潟コシ）

29年3月1日：14,090円（期近）～14,570円（期先）

→29年5月31日：14,030円（期近）～14,420円（期先）

### 取引量（出来高）の推移

本レポート期間（平成29年3月～平成29年5月）における取引量（東京コメ・大阪コメ・新潟コシの1日の平均出来高の合計）は、約1,300枚～1,700枚となった。（P18出来高の推移参照）

平成29年3月  
1,338枚

→ 4月  
1,665枚

→ 5月  
1,406枚

# 米の試験上場に係るこれまでの主な経過

- 平成23年3月8日  
平成23年7月1日  
平成23年8月8日
- ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場の認可申請
  - ・米の試験上場の認可
  - ・取引開始
- 上場期間は取引を開始した日から2年を経過した日まで。ただし、2年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができる（参考資料P66）。
- 平成24年5月29日
- ・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表
- 平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所に、米穀を関西商品取引所に移管。関連取引所規則も整備。なお、日本商品先物振興協会からも、委託者保護の観点から円滑な建玉移管の要請。
- 平成24年12月14日
- ・関西商品取引所から大阪堂島商品取引所への名称変更の認可（平成25年2月12日に変更）
- 平成25年2月12日
- ・国内の3つの商品取引所を2つの商品取引所に再編
- 東京穀物商品取引所は2月8日に農産物市場の立会を停止し、平成24年5月公表の再編方針に基づき、大豆等を東京商品取引所（旧東京工業品取引所）に、米穀を大阪堂島商品取引所（旧関西商品取引所）に移管（参考資料P67）。旧東京穀物商品取引所で取引されていた米穀（東京において受渡しが行われる米穀）を東京コメ、旧関西商品取引所で取引されていた米穀（大阪において受渡しが行われる米穀）を大阪コメと呼称。
- 平成25年6月28日
- ・コメ試験上場検証特別委員会が大阪堂島商品取引所に「コメ先物取引の試験上場に関する検証報告書」を手交
- 平成25年7月8日  
平成25年8月7日  
平成26年4月21日
- ・大阪堂島商品取引所が試験上場の2年間の延長を申請
  - ・米の試験上場の2年間の延長を認可（参考資料P68・69）
  - ・大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成26年10月限以降）について、受渡供用品を農産物検査法に基づく検査規格水稻うるち玄米合格品の全てに拡大するとともに、取引単位を受渡単位と同じ1枚12トンに拡大（参考資料P73）
- 平成27年4月13日
- ・大阪堂島商品取引所が大阪コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を石川及び福井コシヒカリから滋賀及び三重コシヒカリに変更（参考資料P73）
- 平成27年4月21日
- ・大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を茨城、栃木及び千葉コシヒカリから栃木あさひの夢、群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ及び千葉ふさがねに変更（参考資料P74）
- 平成27年7月1日
- ・コメ試験上場検証特別委員会が大阪堂島商品取引所に「コメ試験上場に関する検証報告書」を手交
- 平成27年7月21日  
平成27年8月6日
- ・大阪堂島商品取引所が試験上場の2年間の再延長を申請
  - ・米の試験上場の2年間の再延長を認可
- 上場期間は取引を開始した日から6年を経過した日まで。ただし、6年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができる（参考資料P70）。
- 食料産業局長から大阪堂島商品取引所に対し、「米の先物取引の試験上場に当たっての留意事項について」を通知（参考資料P71）。
- 平成28年8月2日  
平成28年10月21日
- ・大阪堂島商品取引所が標準品に「新潟コシ」を追加（参考資料P72）
  - ・新潟コシ取引開始